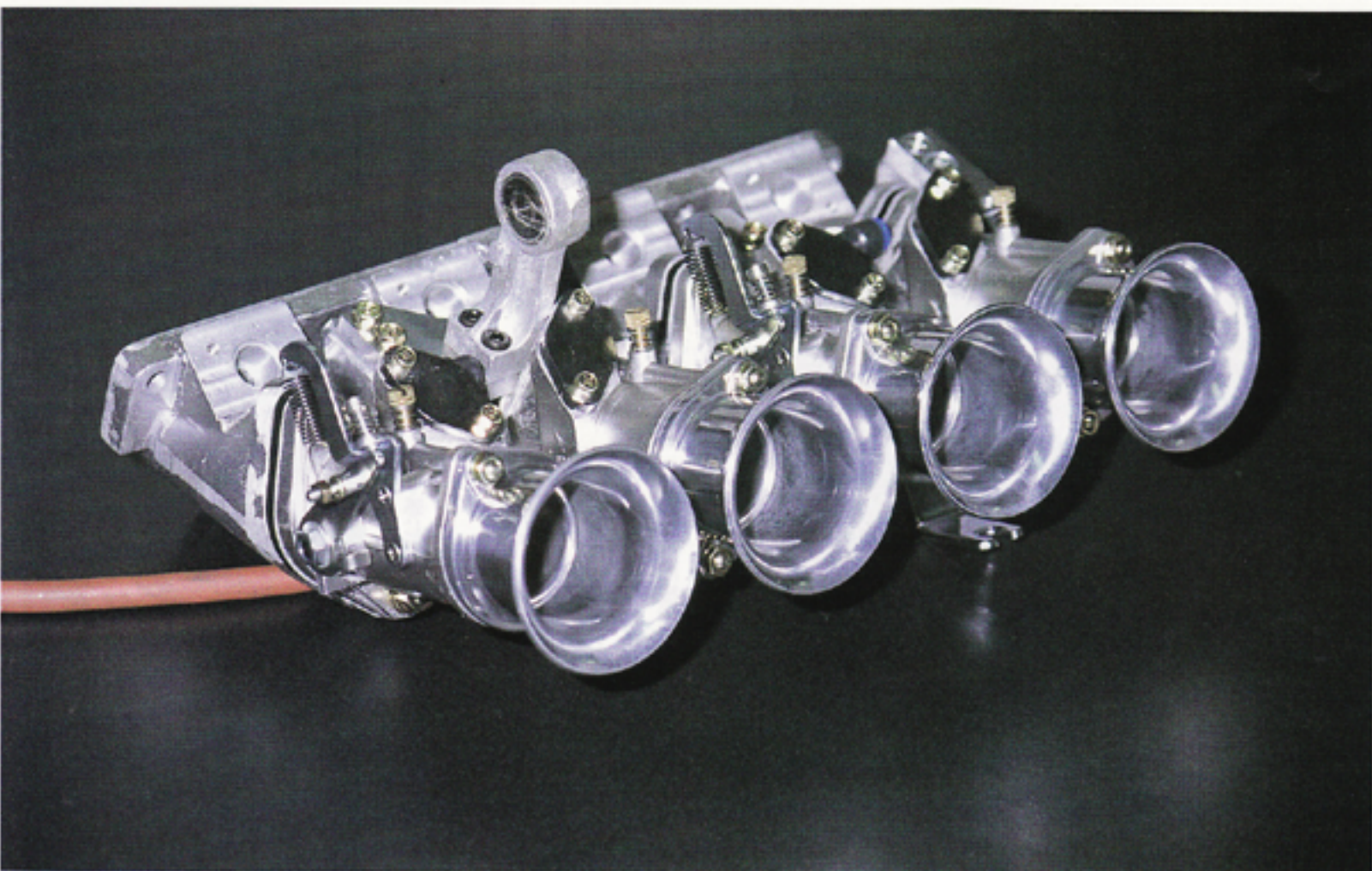


スポーツ・インジェクション

待望の1800用がついに登場！
より細かい制御でさらにレスポンスUP

※トライアルプロジェクト
大阪府堺市八丁町4 丁102-9
☎0722-54-9777



1800用のスポーツ・インジェクションは、スロットル・ポジション・センサーを、スロットルの主軸に移し、さらにシビアなセットができるようになった。20万8000円

マッキー推薦。高精度減衰力調整ダンパー



この4連とともにトライアルが、タイムアップの武器としてオススメしているのが、このクワンタムのショック。マッキーによると、減衰力の基準従来のものをはるかにしのぐ0.001m/secで開発され、一番使う部分での動きがずば抜けていいとのこと。特に、あまりミューの不高くないサーキットでは、大きな効果を発揮する。(P51も参照)

4連スロットルのバイオニア的存在の、トライアルから、いよいよ待望の1800用スポーツ・インジェクションが登場した。今回、この1800用スポーツ・インジェクションをリリースするにあたり、トライアルでは、好評の1600用スポーツ・インジェクションを改めて見直し、さらに使いやすいものとなるよう、モディファイを行なってきた。

その一番の改良点は、スロットル・ポジション・センサーの位置で、1600では、スロットル・リンク・センサーについていたスロットル・ポジション・センサーを、1800用ではスロットル（バタフライ）の主軸に移している。これは、スロットル・リンク・センサーのほうにセンサーがあると、ゼロ接点を取りづらく、そのためになかなかセッティングが出ない、という声に答えるための改良だ。

そこで1800用では、確実にゼロ接点の出せる、スロットルの主軸にセンサーを移し、さらにセンサーそのものをGT-Rのものを用いた。これにより、スロットルが開いたと同時に、電圧が立ち上がるようになり、アクセル開度に対する反応がシビアになるため、より低中速でのアクセルレスポンスが向上している。この辺りの気持ちの良さは、4連スロットルそのもののメリットに加え、ドライバーにかなりの快感をもたらしてくれる。

また、トライアルではこの1800用の発売と同時に、1600用も同じように改良して発売することになっている。ちなみに、すでに1600用のスポーツ・インジェクションを購入している人でも、片側のスロットルボディを交換すれば、新型と同じ方式にすることが出来る。

そうした改良の一方で、今度のスポーツ・インジェクションは、価格を抑えるためにアイドル・アップ機能をオプション扱いにしている。これにより冷寒時は少々不便になるかもしれないが、スポーツ走行にはまったく問題ないし、欲しい人はオプションで手に入るのだから、大きな問題はないと思う。

さて、ゼロ接点が出たことで、コンピュータのほうも進歩があった。今までのコンピュータだと、ゼロ接点が出しにくかったうえに、エアフロを外して、疑似信号を入れたのでどうしても燃料制御がシビアにできない部分があったが、トライアルが基盤から作り直したコンピュータを使えば、4連スロットルのポテンシャルをあまりとこなく発揮して、レスポンスはもちろん、燃費のほうも改善されるようになる。

また、今までのコンピュータでは、本当に4連を使いこなすことはできなかったが、今度登場する予定のHKSのF-CONVを使えば、ノーマルタイプのコンピュータでも、4連を生かせるようになるので、もっと4連が身近になりそうだ。(藤田竜太)



従来のコンピュータでは、なかなか4連用のセットを出すことができなかったが、F-CONVの登場でノーマルタイプでも対応が可能に……。



基盤から作り直した、トライアル・オリジナル・フルコンピュータ。4連スロットルのポテンシャルを引だし、ハイレスポンスと高燃費を実現。



スロットル・ポジション・センサーは、GT-Rのものを流用。これにより中低速のレスポンスは、かなり向上されている。